

令和 2年度 事務事業評価シート (令和 1年度分)

(令和 2年 7月 作成)

1 事務事業の基本事項				整理番号	815000-01-01
事務事業名	生涯学習フェスティバル開催事業			担当部課	教育部 社会教育課
				電話番号	04-2964-1111 内線 4124
総合計画 基本計画	施策の大綱	02	学びあいのまちづくり	実施期間	平成7年 ~ 年
	政策(節)	01	生涯学習の推進	その他の計画	入間市生涯学習推進計画
	施策(項)	03	学習成果の活用		
予算事業名	生涯学習フェスティバル実施事業			予算事業番号	2109・2110
事務分類	<input type="checkbox"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務のうち任意のもの <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> サービス提供 <input type="checkbox"/> 施設整備 <input type="checkbox"/> 許認可事務 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 内部事務 <input type="checkbox"/> その他				
	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()			
事業開始の 背景・経緯	平成6年11月入間市生涯学習庁内連絡会議 入間市生涯学習計画原案作成、平成7年6月入間市生涯学習推進会議 入間市生涯学習をすすめる市民の会結成、平成7年10月1日第1回いるま生涯学習フェスティバル開催、平成8年11月第1次入間市生涯学習推進計画決定、平成17年3月第2次入間市生涯学習推進計画決定、平成23年3月第3次入間市生涯学習推進計画決定(6ヵ年)、平成29年3月第4次入間市生涯学習推進計画決定(6ヵ年)				

2 事務事業の目的・内容

対象	全市民	実施の根拠 (法令・条例等)	第4次入間市生涯学習推進計画
目的 (もたらそうと する成果)	第4次入間市生涯学習推進計画に基づく生涯学習推進事業として、市民に生涯学習活動の成果や活動状況の発表の機会を提供し、生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し、市民と行政との協働によるまちづくりを目指すことを目的とする。		
全体の事業 内容	市民団体・行政職員から選出された委員で組織する実行委員会で企画・運営を行っている。実行委員会で課題が提起され、その解決に向けて市民と行政職員が共に考え、また、生涯学習活動の展示・実演・体験・講演会・シンポジウム・ディスカッション等を展開している。		

3 事務事業の実施状況と成果

令和 1年度の 実施内容	市民との協働による事業。70団体延べ3,770人の参加があった。今回は「いるまなびと大作戦IV さあ！トビラを開けよう・・・」をテーマに、「ボッチャ体験会」をはじめとした様々な学びの体験コーナーや、「大城みほ×石川誠二コンサート」等の実行委員会企画を実施した。							
区分	活動指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)
実施 状況	① 会議日数	目標値又は 前年度値	日	17	16	14	14	前年度実績
		実績値	日	16	14	14		
		達成率又は 前年度比	%	94.12	87.5	100		
	② 広報活動(ポスター)	目標値又は 前年度値	枚	400	400	400	400	前年度実績
		実績値	枚	400	400	400		
		達成率又は 前年度比	%	100	100	100		
	③ 広報活動(ちらし)	目標値又は 前年度値	枚	23,000	20,000	20,000	19,000	前年度実績
		実績値	枚	20,000	20,000	19,000		
		達成率又は 前年度比	%	86.96	100	95		
	④	目標値又は 前年度値						
		実績値						
		達成率又は 前年度比	%					
区分	成果指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)
成果	① 参加者数	目標値又は 前年度値	人	3,173	3,260	3,630	3,770	前年度実績
		実績値	人	3,260	3,630	3,770		
		達成率又は 前年度比	%	102.74	111.35	103.86		
	②	目標値又は 前年度値						
		実績値						
		達成率又は 前年度比	%					

※無印は実績値の増大によって達成率が向上するもの
 ※印は実績値の減少によって達成率が向上するもの

4 事業費

区 分			平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	
経 費	事業費	当初予算額	1,210 千円	1,406 千円	2,143 千円	1,462 千円	
		決算(見込)額 ①	916 千円	984 千円	1,702 千円		
	人件費	従 事 職員数	一般職・労務職	0.65 人	0.68 人	0.74 人	
			嘱託・再任用	0 人	0 人	0.03 人	
			パート等	0.08 人	0.11 人	0.2 人	
		人 件 費 ②	4,524 千円	4,849 千円	5,505 千円		
		総 事 業 費 ③=①+②	5,440 千円	5,833 千円	7,207 千円		
		国・県支出金 ④	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他特定財源 ⑤	0 千円	0 千円	0 千円		
		特 定 財 源 ⑥=④+⑤	0 千円	0 千円	0 千円		
	入間市年間負担額 ③-⑥	5,440 千円	5,833 千円	7,207 千円			
効率性 指 標	指標名	フェスティバル参加者 ⑦	3,260 人	3,630 人	3,770 人		
	コスト	参加者一人当たり ③÷⑦	1,668 円	1,606 円	1,911 円		
備考							

5 事務事業の評価

◆ 1次評価

個別評価	必要性	有効性	効率性
	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	<input checked="" type="checkbox"/> 大変有効である <input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり有効でない <input type="checkbox"/> 有効でない	<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> やや向上 <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> やや悪化 <input type="checkbox"/> 悪化
総合的評価	評 価		今 後 の 方 向 性
	会場の市民会館には多くの扉があるため、その扉を好奇心の扉を開けるイメージとする内容として開催した。各部屋を参加団体のカテゴリーごとに名前を付けて「まちづくりのトビラ」「健康と文化のトビラ」等とし、前年度を超える参加があった。		<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了
改善課題	令和 1年度の取り組み課題		改 善 の 評 価
	今後も市民と行政職員の協働により、課題解決につながる協働によるまちづくりに資する事業の実施を目指す。また、令和元年度は、例年会場で使用していた産業文化センターが改修工事中のため、市民会館・中央公民館で開催する。このため、会場内の配置や実施内容については検討を重ねていき、施設の特色を生かして充実した事業が実施できるように努める。		<input type="checkbox"/> 改善できた <input checked="" type="checkbox"/> やや改善できた <input type="checkbox"/> 改善できなかった
	令和 2年度の取り組み課題		
	今後も市民と行政職員の協働により、問題解決につながる協働によるまちづくりに資する事業の実施を目指す。令和2年度は会場を産業文化センターに戻して実施する予定であるが、事業の内容等を精査し、より多くの団体や市民に参加してもらえるような魅力的なイベントにできるように努める。ただし、新型コロナウイルス感染予防により事業中止とすることがある。		
令和 3年度の取り組み課題			
今後も市民と行政職員の協働により、問題解決につながる協働によるまちづくりに資する事業の実施を目指す。事業の内容等を精査し、より多くの団体や市民に参加してもらえるような魅力的なイベントにできるように努める。			

◆ 2次評価

総合的評価	今後の方向性	具体的内容
	<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止	市民との協働を実践している重要な事業であり、参加者数を確保していることは評価できるが、新しい生活様式を考慮したあり方の検討が必要である。行政課題が多様化・高度化する中、職員と市民の役割分担が重要であり、当事業の実行委員会で市民委員の活躍がより主導的なものとなり、市民中心の実行委員会の模範例となること、事業内容がさらに「協働によるまちづくり」につながる取り組みとなることが期待される。